

式 辞

本日、ここに、令和六年度 北海道網走南ヶ丘高等学校 定時制課程 卒業証書授与式を迎え、皆さんが高校での学びを終え、新たな人生の一步を踏み出されることを、大変誇らしく、また嬉しく思います。定時制教育振興会 会長 高石 一 様、黎明会 会長 米村 喜和 様をはじめ、ご臨席を賜りました、皆様方に、心より感謝申し上げます。

今、授与した卒業証書には、個人の努力はもとより 保護者の愛情、地域の方々の温かい御支援など社会全体の結実として、卒業生一人一人への願いと祈りが込められています。どうか、本校の卒業生として自覚を持ち、心優しく健やかに大きく羽ばたいてください。

振り返れば、皆さんの高校生活は決して平坦な道ではなかったかもしれません。アルバイトや仕事をしながら、学びに励み、部活動に打ち込み、時には疲労が蓄積し、学校に足が向かないことや、悩み、挫折を感じることもあったでしょう。しかし、その一つひとつが、皆さんの成長の糧となり、今ここに立つ強さを身につけてきました。特に、学年関係なく、全校生徒で支え合いながら過ごした日々は、これからの人生においてかけがえのない財産となるはずです。

さて、皆さんが活躍するこれからの社会は、予想をはるかに上回るスピードで進化を続けています。人工知能等の発達により便利になる反面、人との関わりが薄れていく事が危惧されます。そのような時代だからこそ「人としてあるべき姿」を忘れてはなりません。多くのことが進化・進歩していく中で、やはり最後は、他人のことを思いやる心、相手の気持ちに寄り添う心など、人として真摯に物事に向き合う姿勢が大切になってきます。

皆さんには、本校の校訓である「自主自立 奉仕勤労 明澄端正」のもとで身につけた知識、コミュニケーション能力、想像力、経験、そして仲間との絆という財産を生かし、「人としてあるべき姿」を大切にし、強さと優しさをもって、人生を楽しみ、いつか必ず夢を叶えてください。

卒業後、それぞれの道を進む皆さんが、自分の夢や目標に向かって努力を重ね、充実した人生を歩まれることを願っています。そして、皆さんの原点とも言える、仲間との友情を育んだ、この学び舎での様々な思い出を、一生の財産として心に刻み、これからの人生を、力強く生きていくための糧として、いつか必ず夢をつかんでください。

私たち教職員一同、皆さんのこれからの活躍を心から応援しています。

結びになりますが、あらためて卒業生の皆さんの洋々たる前途を祝し、これからの健闘を大いに期待するとともに、ご臨席いただいた皆様方の益々のご健勝を祈念申し上げ、式辞といたします。

令和七年三月一日

北海道網走南ヶ丘高等学校長 與田 顕規